

英国王立協会と日本学術会議によるネットゼロに向けた科学技術対話について

日時

令和4年11月3日（木）9:30～17:30

開催主旨

2050年までのネットゼロ達成に向けて重要視される技術の開発普及に際し、直面する研究課題について、日英両国の専門家間で議論する。商用化を含む具体的な社会実装につながる研究開発（二国間共同研究を含む）領域や研究開発の課題を特定するとともに、議論の結果をいかに政策に反映できるか、今後の研究・協働の可能性などについて討議する。

プログラム

9:30-10:45	プレナリー・セッション1: ・ オープニング ・ 日英の研究・イノベーション政策に関する報告及び討議
10:45-11:00	休憩
11:00-12:30	セッション1: 水素
12:30-13:30	昼食
13:30-15:30	セッション2: バッテリー セッション3: エネルギー・キャリアー（アンモニア・合成燃料） （上記のセッション2とセッション3を並行開催）
15:30-15:45	休憩
15:45-17:30	プレナリー・セッション2: ・ ブレイクアウト・セッションの報告 ・ 討議（分野共通課題、政策課題及び二国間協力の展望など）

参加者

（英国王立協会）

氏名	所属
1. Peter Bruce	Physical Secretary/Vice President of The Royal Society, Wolfson Professor of Materials at the University of Oxford
2. Anthony Kucernak	Professor of Physical Chemistry in the Department of Chemistry, Imperial College London
3. Bill David	Professor of Materials Chemistry, Inorganic Chemistry Laboratory, University of Oxford
4. Clare Grey	Royal Society Research Professor, Department of Chemistry, University of Cambridge) and Principal Investigator at the Faraday Institution
5. Elizabeth Surkovic	Head of Policy, Resilient Futures, The Royal Society
6. Alan Gregory	Policy Adviser, International Affairs – East Asia, The Royal Society

(日本学術会議等)

バッテリー	
1. 本間 格	東北大学多元物質科学研究所金属資源プロセス研究センター長・教授
2. 菅野 了次	東京工業大学科学技術創成研究院特命教授
3. 一杉 太郎	東京大学大学院理学系研究科化学専攻教授／日本学術会議特任連携会員
水素	
4. 堂免 一成	信州大学 先鋭領域融合研究群先鋭材料研究所特別特任教授、東京大学大学院工学系研究科教授
5. 佐々木 一成	九州大学大学院工学研究院機械工学部門主幹教授／日本学術会議連携会員
6. 中村 優美子	国立研究開発法人産業技術総合研究所 エネルギープロセス研究部門 副研究部門長
アンモニア	
7. 江口 浩一	京都大学名誉教授
8. 永岡 勝俊	名古屋大学大学院工学研究科化学システム工学専攻先進化学工学システム教授
合成燃料	
9. 椿 範立	富山大学大学院理工学研究部教授／日本学術会議連携会員
10. 山内 美穂	九州大学先端物質化学研究所分子集積化学部門無機物質化学分野教授／日本学術会議連携会員
触媒	
11. 関根 泰	早稲田大学先進理工学研究科教授
12. 富重 圭一	東北大学大学院工学研究科・工学部応用化学専攻 エネルギー資源化学分野教授

13. 梶田 隆章	日本学術会議会長
14. 菱田 公一	日本学術会議副会長(政府、社会及び国民等との関係担当)
15. 高村 ゆかり	日本学術会議副会長(国際活動担当)
16. 吉村 忍	日本学術会議第三部長
17. 北川 尚美	日本学術会議第三部幹事